

越前和紙の里 紙の文化博物館 夏休み特別展



2023年7月21日(金)～8月28日(月)

開館時間 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週火曜日

入館料 一般300円 (高校生以下無料)、団体200円 (15名以上)

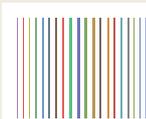
※卯立の工芸館との共通料金



小林忠蔵「越前紙漉図説」より(部分)

越前和紙の里 紙の文化博物館

〒915-0232 福井県越前市新在家町 11-12 TEL: 0778-42-0016 FAX: 0778-42-3260

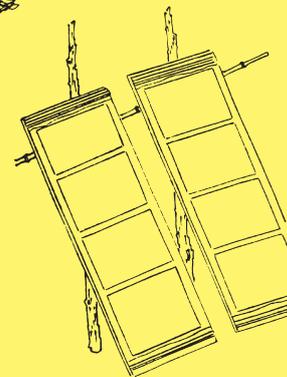


越前和紙の里
紙の文化博物館
Museum of Washi and Culture

紙すきの里 越前五箇

越前五箇は和紙の一大生産地で、昔から「紙すきの里」として有名です。
越前和紙の歴史は古く、昔から色々な種類の紙を作り続けており、「越前にすけない紙はない」といわれるほど、その品質と技術の高さが評価されています。
産地では、昔からの伝統を現代に伝えながら、今でも多くの工房で和紙を作っています。

本特別展では、産地に伝えられてきた紙すき用具や工程などを紹介します。
実際に昔ながらの紙すき用具などに触れながら、和紙は何からできているのか、どのような用具で作られているのか、和紙の基本を学んでみませんか。



和紙の里 同時期開催企画

紙の文化博物館 1階

「越前和紙で紡ぐ 未来少年コナン&世界名作劇場」 7/5(水)～9/25(月)

越前和紙に未来少年コナン&世界名作劇場の絵を複製した作品や現代アーティストたちによるオリジナル作品を展示します。

パピルス館

夏休みワークショップ「紙すき+手がた+印スタで作る 自分だけの和紙づくり」 8/5(土)

紙漉き体験で自分の漉いた紙に手形を押して、消しゴムスタンプで模様を施して自分だけのオリジナル和紙を製作するワークショップです。

事前申込不要

【参加費】600円+紙漉き代

卯立の工芸館

「和紙 Paper Works 我ら、越前和紙の里に住んでるんやあ…」

〔前期展〕7/8(土)～8/6(日) 杉本博

〔後期展〕8/12(土)～9/10(日) 小林桐美

越前和紙の里に住んでいるアーティスト自身が、身近にある越前和紙や和紙の原料を集め、形にした作品展です。誰かにとつての当たり前は、見方を変えれば宝になる。アーティストたちにとつての宝をぜひご覧ください。

7/22(土)
OPEN!

越前和紙の里美術館 開館記念展「越前和紙 東山魁夷木版画展 7/22(土)～11/20(月)

国民的画家と呼ばれる東山魁夷画伯が手がけた木版画は、そのほとんどが越前生漉奉書紙に刷られています。その中から、京都、奈良など日本の風景を描いた作品を展示します。

入館料 一般800円、共通入館券 一般1,000円(卯立の工芸館・紙の文化博物館・和紙の里美術館共通入館券)

入館料	大人	高校生以下
個人	300円	無料
団体	200円	無料

※身体障害者手帳、療育手帳又は精神保健福祉手帳の交付を受けている方は、150円

※団体は、15名以上の場合に適用

※入館料は、紙の文化博物館・卯立の工芸館と共通



電車

JR大阪駅～武生駅(特急2時間)
JR名古屋駅～武生駅(特急2時間)
JR金沢駅～武生駅(特急1時間)

自動車

米原JCT～武生I.C(北陸自動車道1時間)
武生I.Cより10分

JR武生駅下車後、タクシーで20分
福鉄バス南越線または池田線で30分、
和紙の里下車徒歩3分



越前和紙の里
紙の文化博物館
Museum of Washi and Culture

越前和紙の里 紙の文化博物館

〒915-0232 福井県越前市新在家町11-12 TEL: 0778-42-0016 FAX: 0778-42-3260

<https://www.echizenwashi.jp/museum/>